

2020年3月期
決算説明資料

YOSHITAKE 

JASDAQ

Listed Company 6488



2020年3月期 決算概要

2020年3月期の総括



国内経済は、前半は政府の経済政策や日銀の金融緩和政策などを背景に、家計部門においては雇用・所得環境の改善が持続し、良好な所得環境に支えられて個人消費も緩やかな回復傾向が続きました。企業部門においては、企業収益は一進一退の動きで推移したものの、設備投資は省力化やデジタル化に向けたソフトウェア投資を中心に増加基調が継続しました。年度後半においては、消費税増税による個人消費の落ち込みが懸念されたものの、軽減税率の導入や幼児教育・保育の無償化などの負担軽減策により大きな落ち込みは回避され、企業部門においても緩やかな増加基調が継続していたものの、2020年に入り新型コロナウイルスの感染拡大が徐々に深刻化したことから、インバウンドも含めた消費活動全体の冷え込みや企業活動の停滞などで経済情勢は激変し、国内景気は大きく落ち込みました。

今後については、新型コロナウイルス感染拡大防止のための様々な措置により経済活動は制約されることが見込まれるため、先行きが見通せない状況となっております。海外経済においても新型コロナウイルスの世界的な大流行の影響により景気が急速に落ち込んでおり、当面感染症の影響が続くと見込まれるため先行きについては不透明な状況となっております。

当社グループにおいては、国内外のマーケットへ向け営業活動を強化してまいりました結果、国内顧客向け販売においては、オリンピック関連も含めた都心再開発計画などにより活発化している建築設備市場において受注を増やし、その他の国内市場においてもおおむね堅調に推移しました。一方、海外顧客向け販売においては、特に北米地域で販売を伸ばしたものの、米中貿易摩擦の影響により夏頃から中国およびASEAN地域において販売の鈍化傾向が見られ、年度後半にかけては新型コロナウイルスの感染拡大により中国向けの販売が大きく落ち込み、販売活動全体としては前期を下回る推移となりました。

当社グループは一丸となり、引き続き積極的な提案営業を展開いたしました結果、連結売上高は69億83百万円となり、前期に比べ0.3%の減少となりました。

損益面では、営業利益は6億8百万円(前期比0.9%増)、経常利益は9億7百万円(前期比10.3%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は7億21百万円(前期比0.0%減)となりました。

1. 工数低減やコスト削減を強力に推し進めた結果、売上総利益および営業利益は増加
2. 米国関連会社の増益に伴い持分法による投資利益は増加し、経常利益は増加
3. 前期に発生した連結子会社の固定資産売却益などが当期は発生しなかったことなどにより親会社株主に帰属する当期純利益は減少

2020年3月期の連結貸借対照表



(単位: 千円)

	前期	今期	増減額
流動資産	7,308,259	7,747,548	439,288
有形固定資産	3,805,421	3,577,574	△ 227,846
無形固定資産	55,351	72,821	17,470
投資その他資産	2,110,618	2,158,174	47,556
固定資産	5,971,390	5,808,570	△ 162,820
資産合計	13,279,650	13,556,119	276,468
流動負債	1,190,908	1,127,198	△ 63,709
固定負債	772,483	822,838	50,355
負債合計	1,963,391	1,950,037	△ 13,354
純資産合計	11,316,259	11,606,081	289,822
負債純資産合計	13,279,650	13,556,119	276,468

連結貸借対照表主な変動要因



流動資産の増加

現金及び預金の増加

有形固定資産の減少

建物及び構築物の減少

機械装置及び運搬具の減少

純資産合計の増加

親会社株主に帰属する当期純利益の計上により利益
剰余金が増加

2020年3月期の連結損益計算書

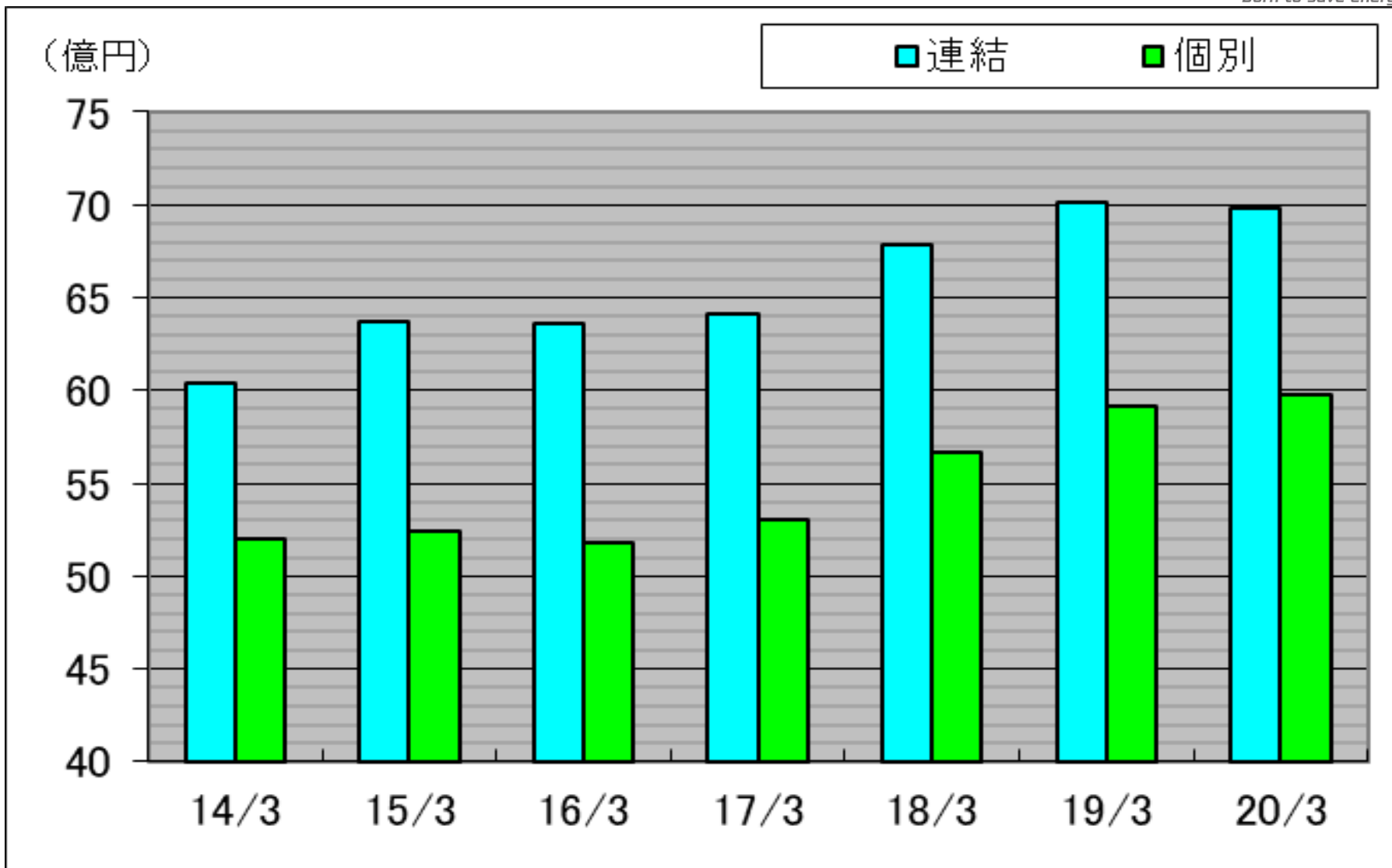


Born to save energy™

(単位: 千円)

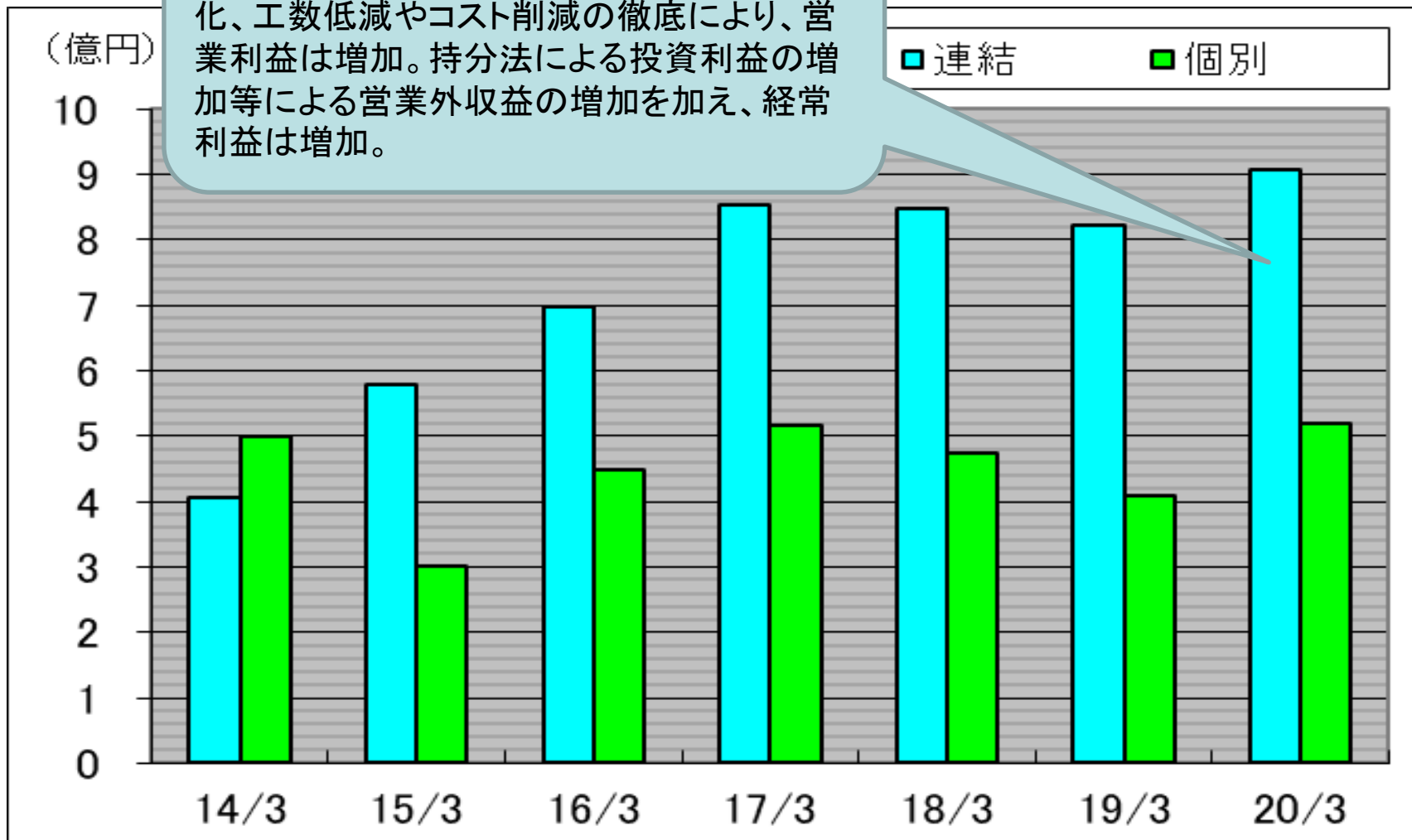
	前期	今期	増減額
売上高	7,008,188	6,983,838	△ 24,350
売上原価	4,232,876	4,208,222	△ 24,654
売上総利益	2,775,311	2,775,615	304
販売費及び一般管理費	2,172,470	2,167,495	△ 4,975
営業利益	602,841	608,120	5,279
営業外収益合計	269,260	400,517	131,256
営業外費用合計	49,195	100,669	51,474
経常利益	822,906	907,967	85,061
特別利益合計	119,871	—	△ 119,871
特別損失合計	—	1,449	1,449
税金等調整前当期純利益	942,777	906,517	△ 36,259
法人税、住民税及び事業税	155,848	148,542	△ 7,306
法人税等調整額	53,625	25,612	△ 28,013
当期純利益	733,303	732,362	△ 940
非支配株主に帰属する当期純利益	11,425	10,661	△ 764
親会社株主に帰属する当期純利益	721,877	721,701	△ 176

売上高の推移

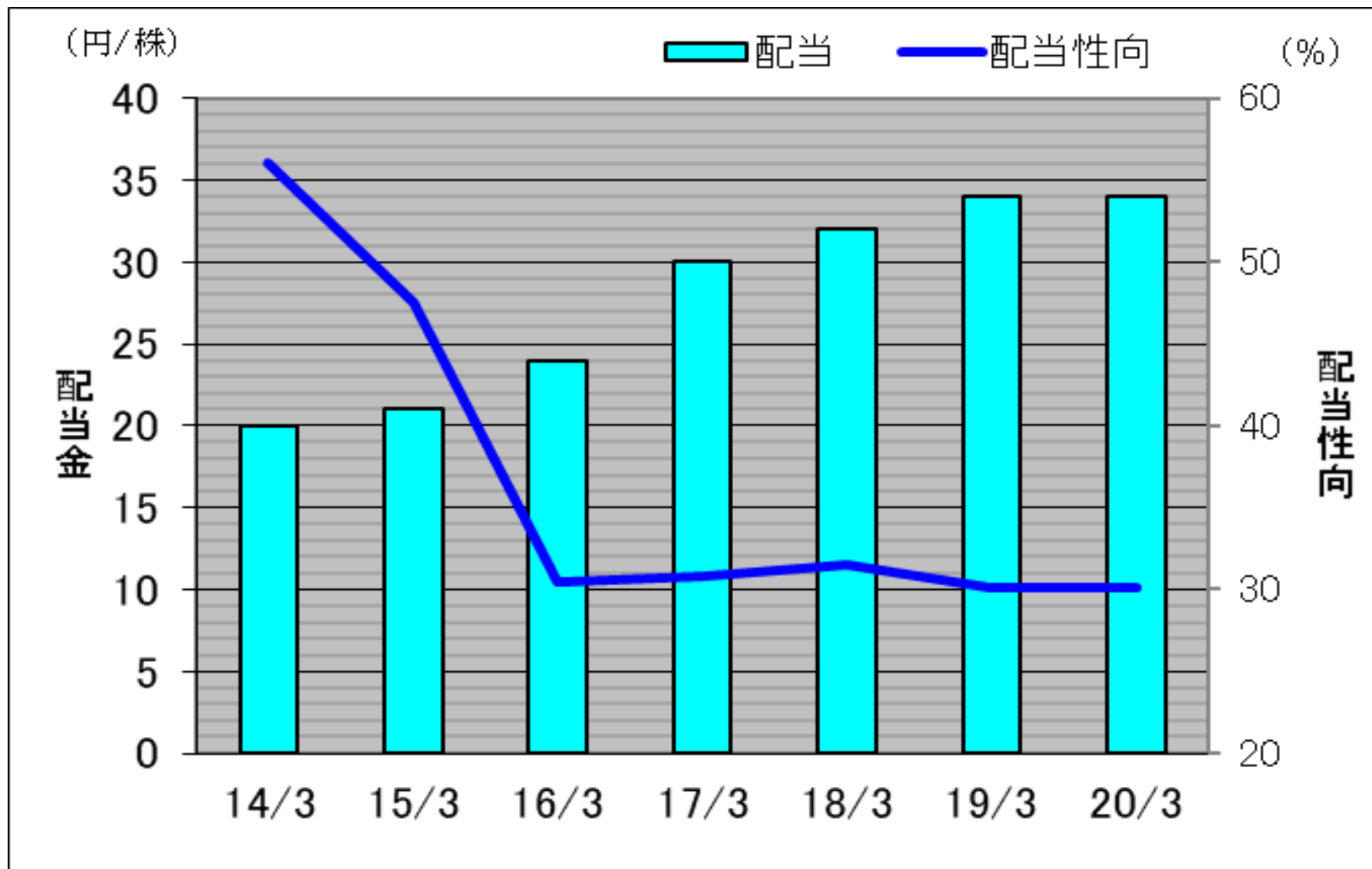


経常利益の推移

売上は僅かに減少したものの、生産の効率化、工数低減やコスト削減の徹底により、営業利益は増加。持分法による投資利益の増加等による営業外収益の増加を加え、経常利益は増加。



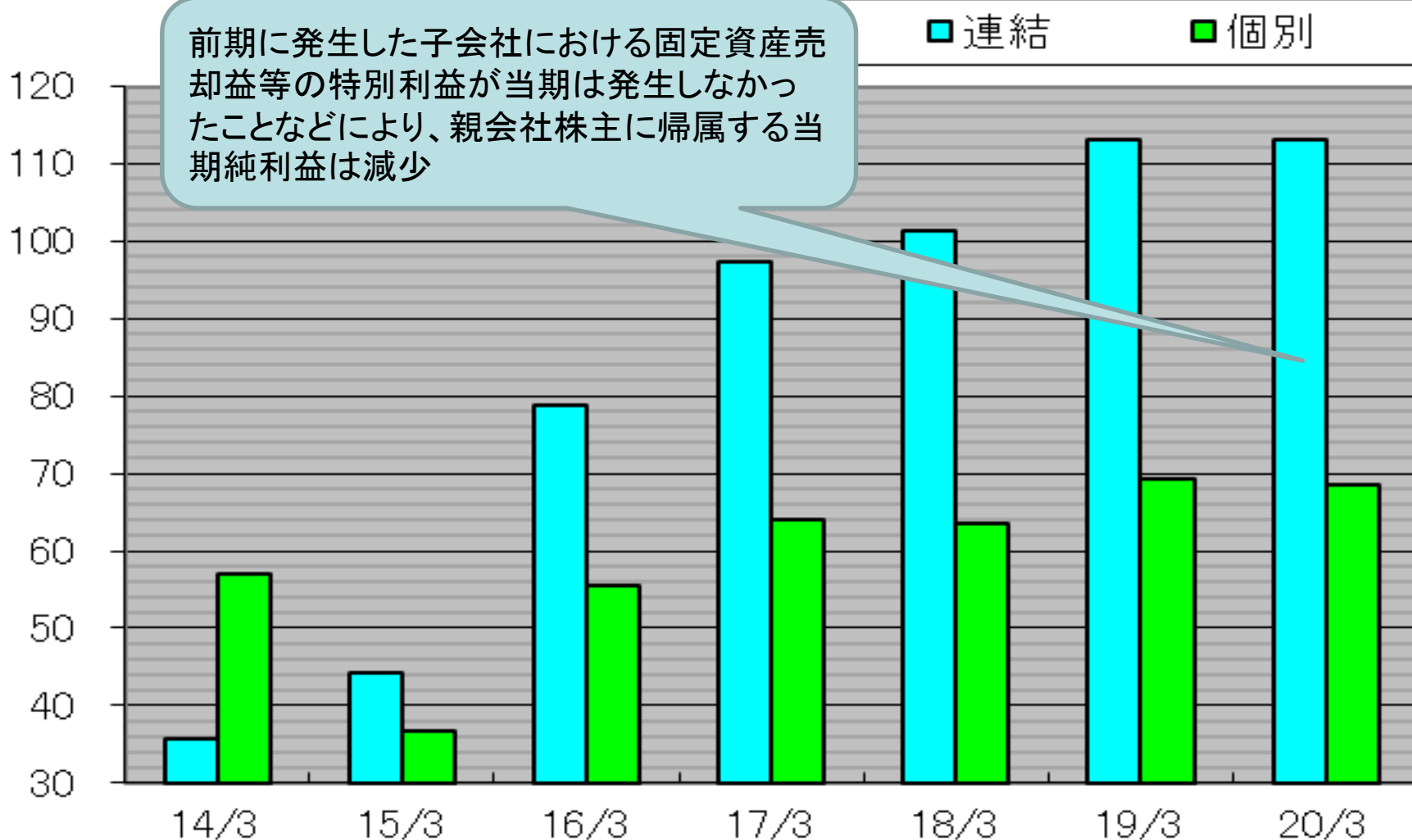
1株当たり配当の推移



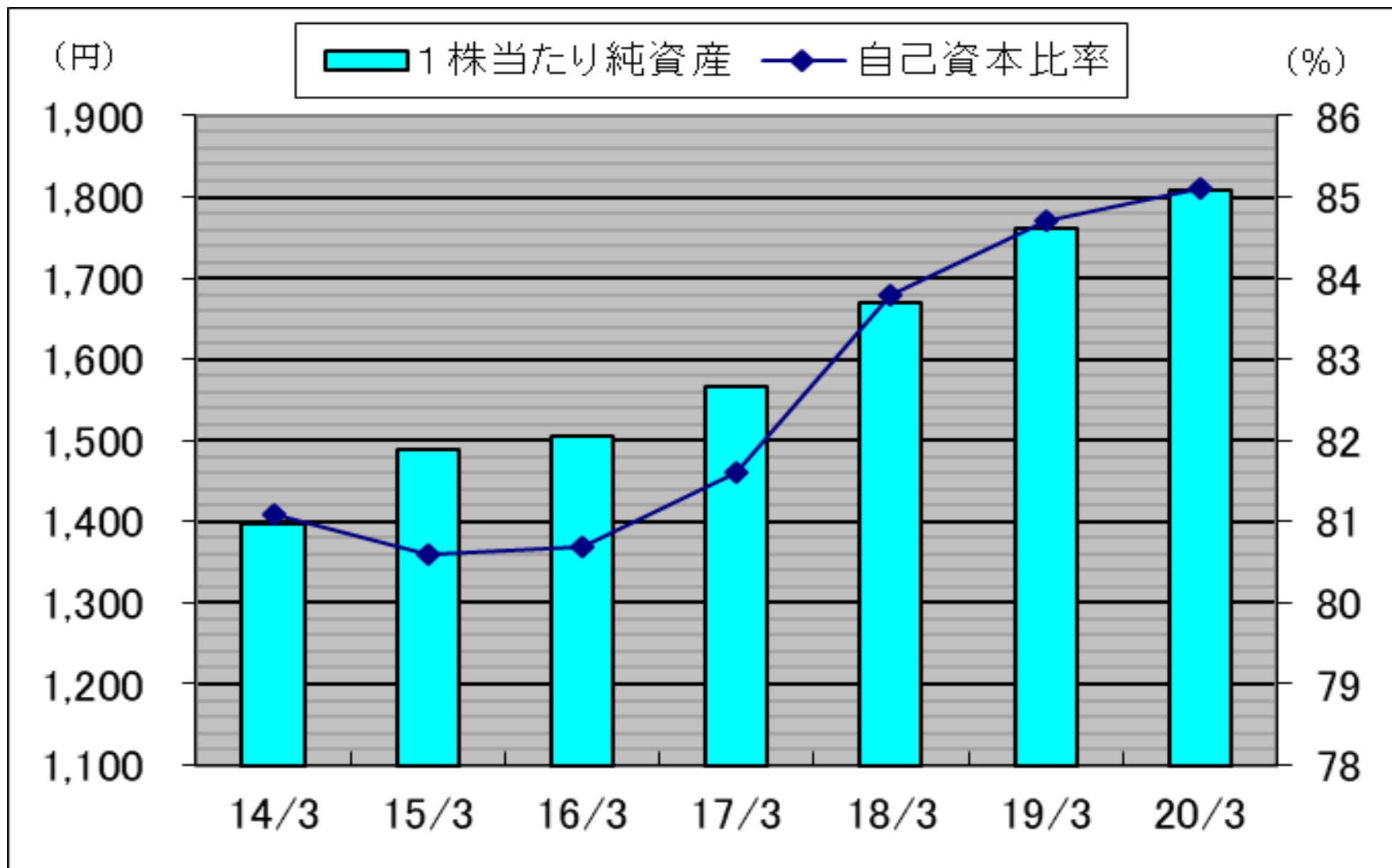
1株当たりの当期純利益の推移



前期に発生した子会社における固定資産売却益等の特別利益が当期は発生しなかったことなどにより、親会社株主に帰属する当期純利益は減少



1株当たり純資産(連結)の推移



関係会社の業績は好調です。



子会社、持分法適用会社(関連会社)は業績好調です。

Yoshitake Works (Thailand) Ltd. 100%所有 (タイ国における製造子会社:各種バルブ製造)

カワキ計測工業株式会社 100%所有 (日本における製造子会社:流量計の製造)

ヨシタケアームストロング株式会社 50%所有

(日本における販売子会社:米国アームストロング社製品の販売)

Armstrong Yoshitake, Inc. 50%所有 (米国における販売関連会社:当社製品の販売)

Everlasting Valve Company, Inc. 50%所有 (米国における製造関連会社:特殊バルブの製造)



2021年3月期 業績予想

2021年3月期業績予想



(単位: 千円)

	今期	来期予想	増減額
売上高	6,983,838	5,600,000	△1,383,838
営業利益	608,120	60,000	△548,120
経常利益	907,967	300,000	△607,967
税金等調整前当期純利益	906,517	300,000	△606,517
親会社株主に帰属する当期純利益	721,701	250,000	△471,701

2021年3月期業績予想の概要



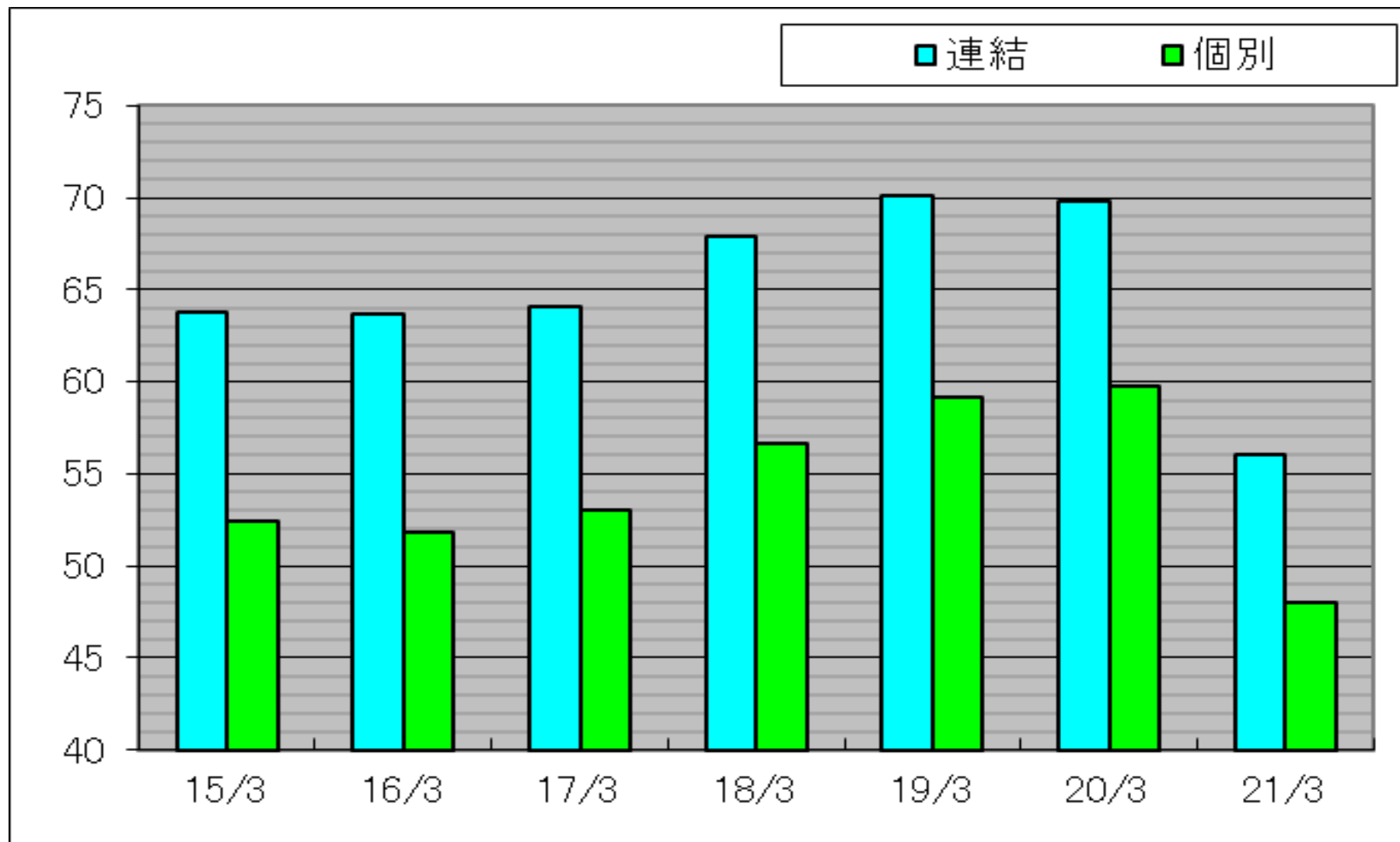
連結売上高:

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大が続いており、感染防止に伴う人やモノの移動制限によって、国内外の経済に深刻な影響を及ぼすことが懸念され、現時点での引き合いの状況が期末まで続くと想定した場合、連結売上高は56億円(当期比19.8%減)を予想しております。

損益:

連結子会社、関連会社ともに世界的な景気減速の影響が予測され、経常利益3億円(当期比67.0%減)、親会社株主に帰属する当期純利益2億50百万円(当期比65.4%減)を予想しております。

売上高の推移



対処すべき課題



継続的な成長を目指して次のような課題に取り組み、
経営の効率化と業績の向上に努めてまいります。

1. 建築設備物件の受注率の向上
2. 非対面型営業の体制の強化と推進
3. 海外販路の一層の拡大
4. 製品ラインナップの拡充
5. 内製化率の向上と原価低減

配当政策

当社は「株主に対する配当額の決定は最重要政策のひとつ」と考えており、基本的には利益に対応して配当性向30%以上を目標に配当額を決定する方針です。

当事業年度(第77期)につきましては、1株当たり34円の配当金とさせていただきます。

企業理念



フェア ビジネス

Y's a Business of Fair Endeavor

当社が掲げる企業理念は「フェアビジネス」。

いつでも、どんな時にも、誰に対しても常にフェアに行動します。

そして、コーポレートガバナンスやコンプライアンスはもとより、誠実なプロポーザル&ソリューションをお客様に提供することも、私たちが考えるフェアビジネスの条件です。



本資料で記述されている将来の当社業績に関する見通しは、現時点で入手可能な情報を基に当社が判断した予想です。従いまして、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをお含みおき下さい。